

Ⅱ 学校評価結果の分析及び考察等

1 本年度、学期を追って伸びがみられ且つ昨年度の結果を上回った項目

(1) 職員

① 教職員としての資質の向上

具体的実践事項		学校職員 学期別評価				参考
		学期(グラフ)		平均	評価	昨年度
4	学校組織の一員として、協力し合って組織的に学校の課題に対応できたか。	1学期	3.5	3.6	○ 上昇	3.5
		2学期	3.5			
		3学期	3.7			

② やりぬく力

具体的実践事項		学校職員 学期別評価				参考
		学期(グラフ)		平均	評価	昨年度
17	保健指導の充実は図れたか。	1学期	3.5	3.6	○ 上昇	3.5
		2学期	3.6			
		3学期	3.6			
18	食に関する指導は充実できたか。	1学期	3.4	3.5	上昇	3.5
		2学期	3.4			
		3学期	3.8			

学期末ごとに学校評価の結果を部会で分析し、対応策を考え具体的に取り組んだことが学校組織の一員としての自覚をもつ結果となった。

「ありがとう」でつながる大畑小

あ 挨拶・返事を気持ちよく！
 り 理想(夢・目標)を持ってチャレンジ！
 が 学習を自分たちの手で！
 と 友達と命を大切に！
 う 動く！(自分のために、人のために)

「ありがとう」でつながる大畑小を合い言葉に年間を通じて職員と児童が共有した活動ができたため、組織で動いたという実感を伴った成果になった。

2学期の結果を受けて、「やりぬく力」部会の提案した具体的対策（健康衛生面、食に関する指導）を継続して取り組んだことで数値が向上した。特に、職員だけの取組ではなく児童の自発的な活動（委員会活動）として取り組んだことで、成果が見えたと感じる。

「自ら学ぶ力」では、学期ごとに伸びがみられた項目もあったが、昨年度の職員の自己評価値より下回った項目が4／5項目あった。一概に課題とは言えないが、今後も熊本の学び推進プランを拠り所とした授業実践に努めていきたい。そして、誰一人取り残さない教育の推進を図っていく。